

## 第 14 回 所有接尾辞

教科書の該当ページ：86 ページ、100～102 ページ、111～112 ページ

**所有接尾辞** → 教科書第 10 課④

第 4 回、第 5 回で見たように、所有者が人称代名詞のときは、属格の代わりに所有接尾辞で所有者を表します。所有接尾辞は以下の通りです。

1 人称単数	-ni	1 人称複数	-mme
2 人称単数	-si	2 人称複数	-nne
3 人称単数	-nsa/-nsä	3 人称複数	-nsa/-nsä

所有接尾辞は格語尾の後につけます。格語尾が子音で終わっている場合は、その子音を取り去ってから所有接尾辞をつけます。

例) 私の家で(単数{中で}格)	talossa	→	taloss <u>ani</u>	
私の家の(単数属格)	talon	→	tal <u>oni</u>	×talonn <u>i</u>

単数主格形に所有接尾辞をつける場合、単数主格形と語幹が同じ場合は、単数主格形にそのまま所有接尾辞をつけますが、単数主格形と語幹が異なる場合は、語幹に所有接尾辞をつけます。また、階程交替する名詞の場合、語幹の子音は強階程になります。

例) 私の父が(単数主格)	[isä]	→	[isä] <u>ni</u>	単数属格 [isä]n
私の母が(単数主格)	[äi <sup>h</sup> ti]	→	[äi <sup>h</sup> ti] <u>ni</u>	単数属格 [äi <sup>h</sup> ti]n、階程交替あり
私の息子が(単数主格)	[poi <sup>h</sup> ka]	→	[poi <sup>h</sup> ka] <u>ni</u>	単数属格 [poja]n、階程交替あり
私の娘が(単数主格)	[ty <sup>h</sup> tär]	→	[ty <sup>h</sup> ttäre] <u>ni</u>	単数属格 [ty <sup>h</sup> ttäre]n、階程交替あり
私の子供が(単数主格)	[lapsi]	→	[lapse] <u>ni</u>	単数属格 [lapse]n
私の生徒が(単数主格)	[oppilas]	→	[oppilaa] <u>ni</u>	単数属格 [oppilaa]n

単数主格形・単数属格形・複数主格形に所有接尾辞をつけると、全く同じ形になります。

例) 私の娘が(単数主格)	[ty <sup>h</sup> tär]	→	[ty <sup>h</sup> ttäre] <u>ni</u>
私の娘の(単数属格)	[ty <sup>h</sup> ttäre]n	→	[ty <sup>h</sup> ttäre] <u>ni</u>
私の娘(複数)が(複数主格)	[ty <sup>h</sup> ttäre]t	→	[ty <sup>h</sup> ttäre] <u>ni</u>

3 人称の人称接尾辞は単数複数とも -nsa/-nsä ですが、所有接尾辞の直前が母音の場合、その母音を伸ばして -n をつけることもできます。ただし、母音が 3 つ続いてしまう場合は除きます。

例) 彼の家で(単数{中で}格)	talossa	→	taloss <u>ansa</u> あるいは taloss <u>aan</u>
彼の家を(単数分格)	taloa	→	talo <u>ansa</u> ×talo <u>aan</u>

